

パーティション扉専用片錠B

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず説明書をお読みください。

門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので設置の場所・目的に合わせて選択してください。

■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合が無いか確認してください。

■使用上のご注意

- 製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。
- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
- 開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。また、人・物等の障害物が無い事を確認してください。
- 扉の上に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

梱包明細表

①パーティション扉セット (W07・H12)

| 名 称 | 員 数 | |
|---------------|-----|-----|
| | 右勝手 | 左勝手 |
| 扉本体 (W07・H12) | 1 | 1 |

②パーティション扉セット (W07・H10)

| 名 称 | 員 数 | |
|---------------|-----|-----|
| | 右勝手 | 左勝手 |
| 扉本体 (W07・H10) | 1 | 1 |

③パーティション扉セット (W07・H08)

| 名 称 | 員 数 | |
|---------------|-----|-----|
| | 右勝手 | 左勝手 |
| 扉本体 (W07・H08) | 1 | 1 |

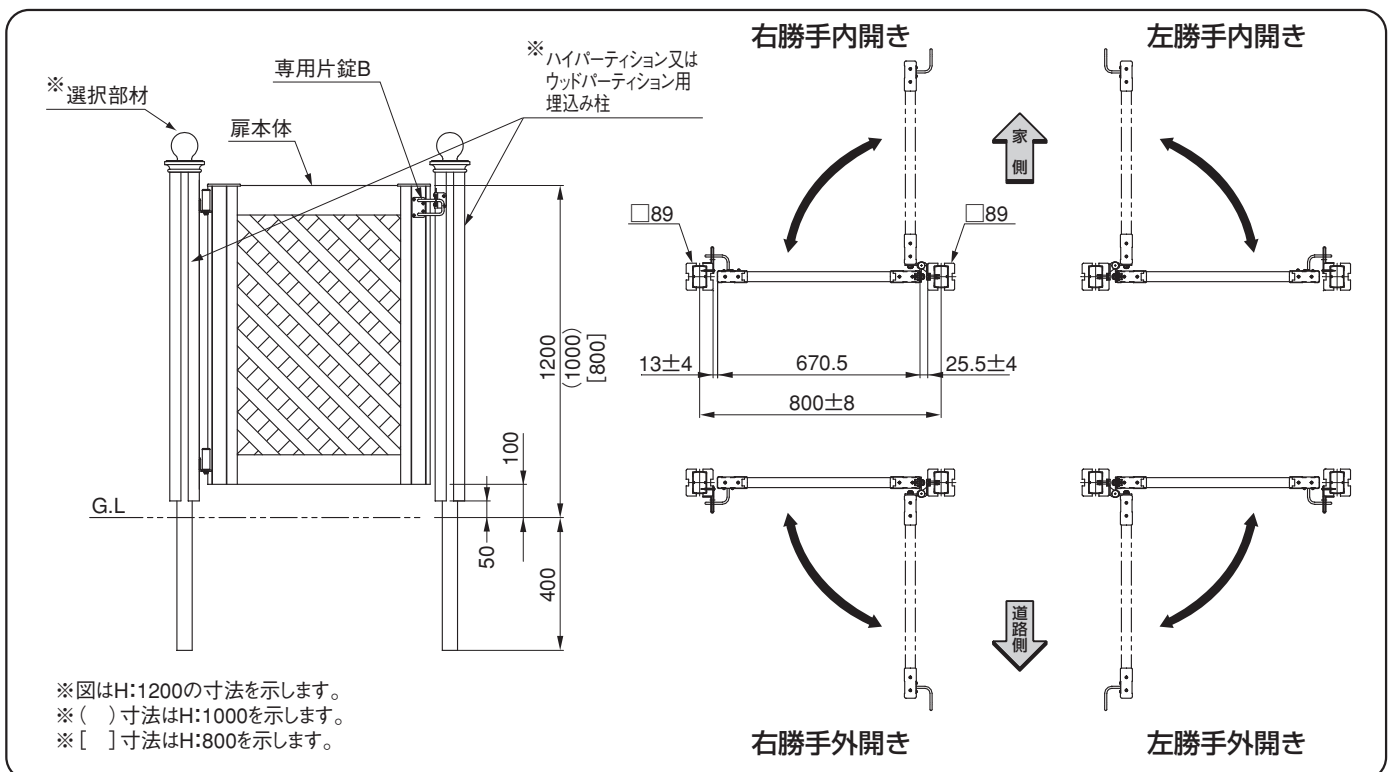
③ 専用片錠Bセット

| 名 称 | 員 数 |
|----------------------------|-----|
| キャッチ錠本体セット | 1 |
| キャッチアーム | 1 |
| ヒンジ | 2 |
| ヒンジ裏板 | 2 |
| ヒンジ固定ボルトキャップ | 4 |
| ヒンジキャップ | 2 |
| 調整金具セット | 2 |
| シャフト用ワッシャー | 2 |
| キャッチ錠取付ネジ φ4×35バインドピース | 4 |
| キャッチアーム取付ネジ φ4×32バインドネジ | 4 |
| ヒンジ固定ボルト M8×15六角ボルト(フランジ付) | 4 |
| 調整金具取付ネジ φ4×35バインドピース | 8 |

<注 意>

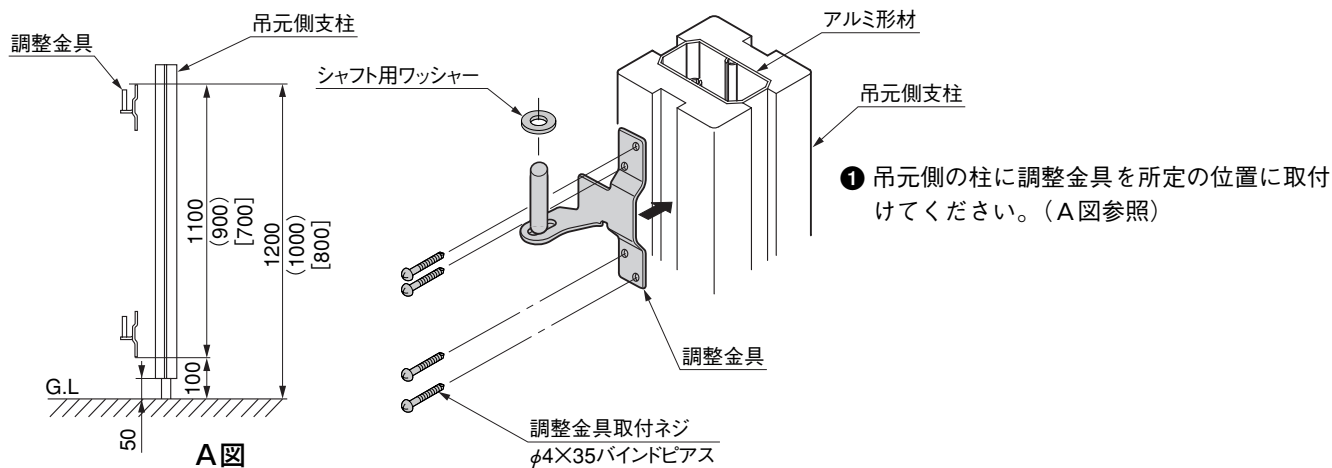
- 支柱はハイパーパーティション又はウッドパーティション用埋込み柱を使用します。
- 支柱キャップはハイパーパーティション又はウッドパーティション用支柱キャップを使用します。
[柱キャップA,柱キャップB,柱キャップB+柱ギボシのいずれかを選択]

1. 姿図および各部名称

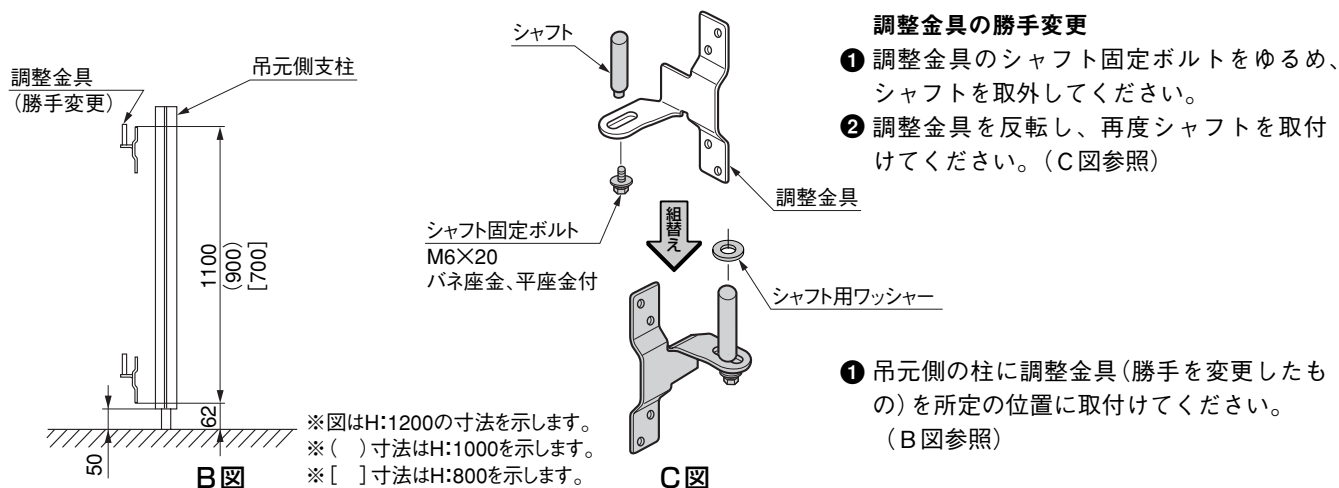


2. 調整金具の取付け

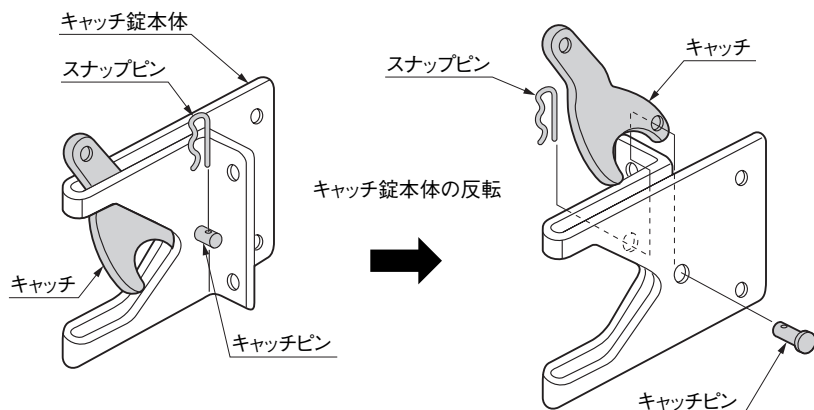
2-1 右勝手内開き仕様・左勝手外開き仕様の場合



2-2 右勝手外開き仕様・左勝手内開き仕様の場合

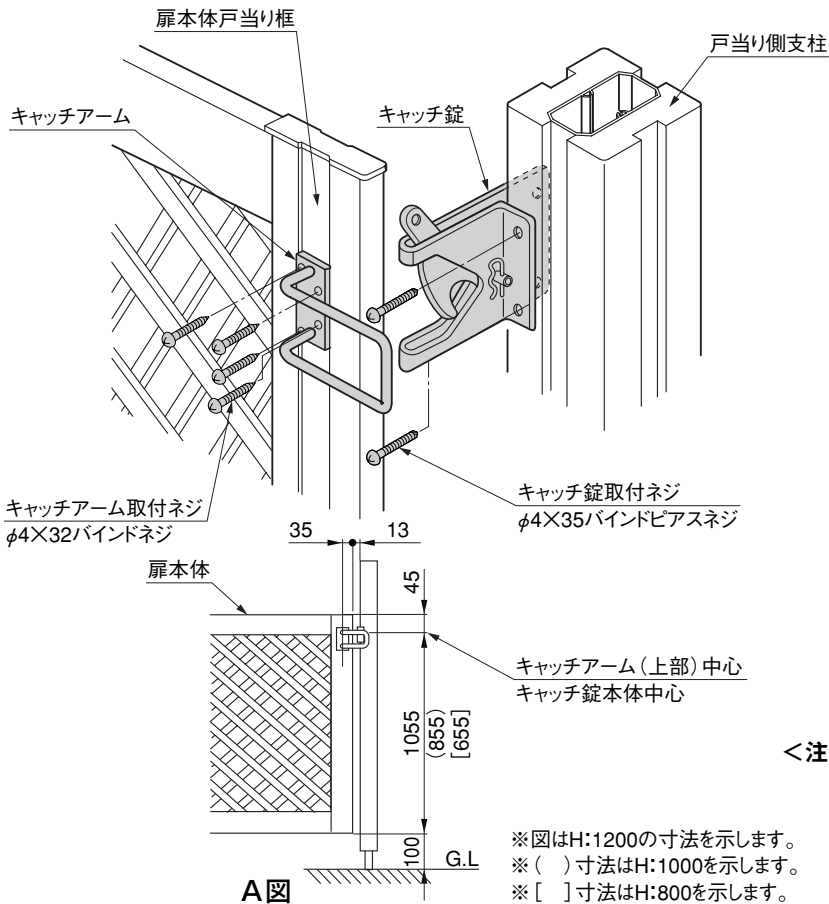


3. 錠セットの勝手変更

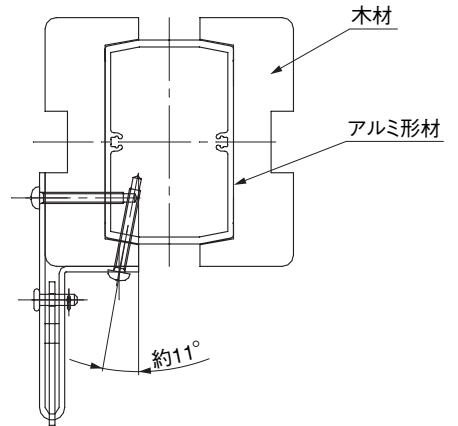


- 1 キャッチ錠の中心に挿入されているキャッチピン抜け止め用のスナップピンを抜いてください。
- 2 キャッチピンを抜きとり、キャッチを外してください。
- 3 本体を左右反転させてください。
- 4 キャッチを挿入し、キャッチピンをキャッチ錠本体のフラットな面から挿入してください。
- 5 キャッチピン先端側の穴にスナップピンを挿入してください。

4. 錠セットの取付け



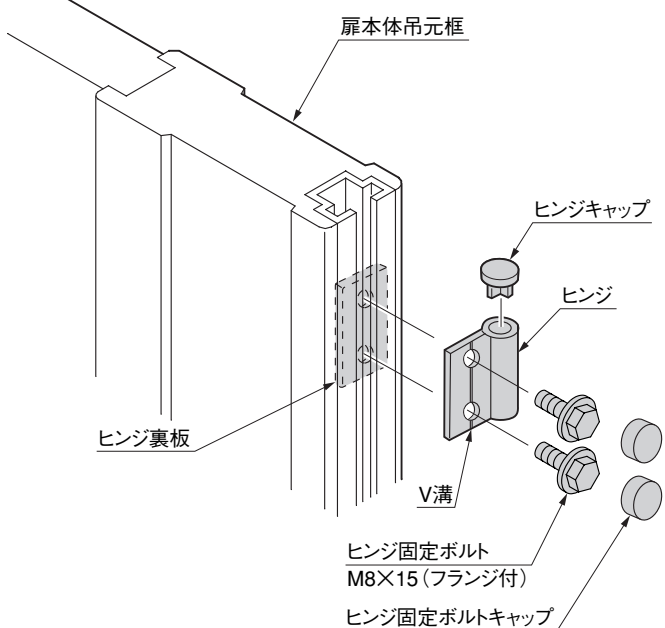
- 1 扉本体の所定の位置にキャッチアームを取付けてください。(A図参照)
- 2 戸当り側支柱の所定の位置にキャッチ錠本体を取付けてください。(A図参照)



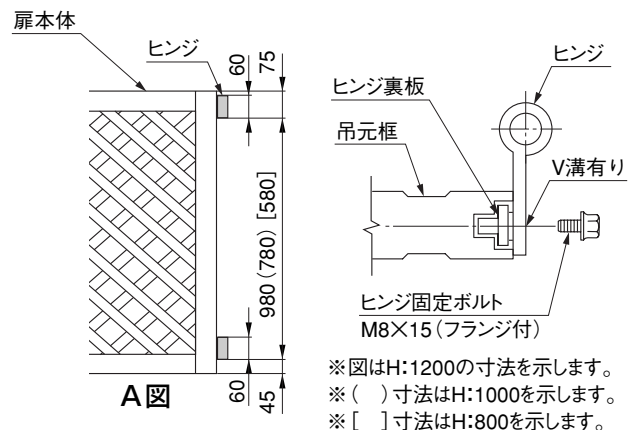
<注意>

- 支柱のアルミ形材が見える側のネジはアルミ形材に極力垂直にネジがたつように約11°傾けてキャッチ錠固定ネジを打込んでください。

5. ヒンジの取付け



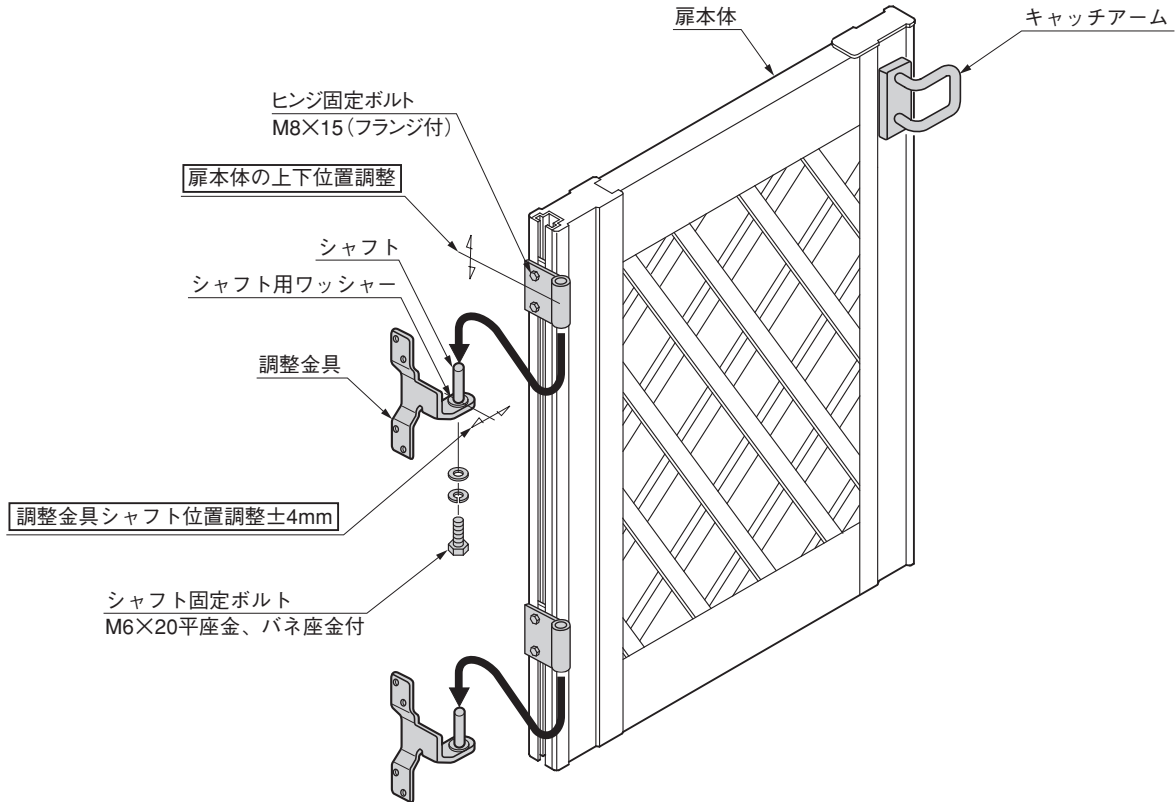
- 1 扉本体吊元框にヒンジ裏板を挿入し、所定の位置にヒンジを上下2ヶ所取付けてください。(A図参照)
- 2 ヒンジキャップを取付けてください。
- 3 ヒンジ固定ボルトキャップを取付けてください。



<注意>

- ヒンジの取付方向に注意してください。

6. 扉本体の吊り込みおよび各部の調整



扉本体の吊込み

- 1 扉本体ヒンジ部を調整金具のシャフトに挿入し、扉を吊元側支柱に吊込んでください。

<注意>

- シャフト用ワッシャーがセットされていることを確認してください。
- 錠(キャッチ)のかかり具合を確認してください。
- 扉の開閉に支障が無いことを確認してください。
- 戸当り側、吊元側の隙間が規定通りの寸法であることを確認してください。

各部の調整

- 1 上図の調整箇所各ボルトをゆるめ、調整寸法範囲内で調整してください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

A261

LFE820661B
199909A
201108D_1042